



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
〔URL〕 <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2024年2月8日

報道関係 各位

～三浦文学を心の豊かな糧として次世代に伝えていくために～ 「三浦綾子記念文学館寄付型自販機」お披露目式を開催

北海道コカ・コーラボトリング株式会社(本社：札幌市清田区 代表取締役社長：佐々木康行)は、公益財団法人三浦綾子記念文化財団(所在地：旭川市 理事長：石川千賀男)と相互及び連携し、三浦綾子記念文学館(以下、「文学館」という。)において、かけがえのない文化遺産を継承して地域づくりに貢献することを目的として「三浦綾子記念文化財団への寄附に関する協定」を2023年11月1日に締結し、同日から「三浦綾子記念文学館寄付型自動販売機」の運用を開始いたしました。

現在、文学館に設置している既存の自動販売機を「三浦綾子記念文学館寄付型自動販売機」第一号として運用を開始しました。また、同協定を記念して「三浦綾子記念文学館ラッピング自動販売機」を製作し、2024年1月31日に旭川市立大学図書館1階に設置しました。寄付金は文学館の運営費として活用され、今後も賛同する企業やパートナーなどへの設置を進めてまいります。

つきましては下記の通り、お披露目式を行いますのでお知らせいたします。

<「三浦綾子記念文学館ラッピング自動販売機」お披露目式概要>

日時：2024年2月14日(水) 14時00分より
場所：旭川市立大学図書館1階(北海道旭川市永山3条23丁目1番9号)
出席者：公益財団法人三浦綾子記念文化財団 理事長 石川 千賀男 様
公立大学法人旭川市立大学 理事長 高瀬 善朗 様
北海道コカ・コーラリテール&ベンディング株式会社
セールス統括本部 道北支社 支社長 笹岡 竜也



<三浦綾子記念文学館ラッピング自動販売機>

● 「三浦綾子」氏について

三浦綾子氏は1922年に旭川市で生まれ、1964年に小説『氷点』で作家デビューし、旭川市を代表する作家として大活躍しました。旭川を愛し、最後まで書くことへの情熱を持ち続けた三浦綾子氏は1999年に77歳でこの世を去りましたが、三浦文学ファンの熱い想いと市民運動によって1998年に設立された文学館によって今も多くの人々に生きる希望と励ましを与えています。

地域にとどまらず北海道にとって文学館が「社会の共有財産」であるという自覚と誇りをもち、次世代に伝えていくために三浦文学作品が末永く読み継がれるよう務めます。

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、道産子企業として、北海道の魅力をさらに高める活動、地域課題解決への協力、次世代を担う子どもたちに将来の地球の姿を考える場の提供、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みなど、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・サステナビリティ推進部
担当：平賀 TEL 011-888-2091

<参考> 当社の旭川での取り組みについて

➤ 魅力的なまちづくりに関する基本協定

「魅力的なまち旭川づくり」を目指す旭川市と当社の双方が保有する資源等を活用することで、旭川市が特徴的な街となり、持続的に発展することを目的として 2008 年 4 月に締結しています。

<同協定に基づいた取り組み>

● 電光掲示板付き災害対応型自動販売機の展開

2008 年 5 月より、「デジタル通信 あさひかわ」として、当社が所有する電光掲示板付き災害対応型自動販売機で、旭川市が発信する様々な環境情報・観光情報（施設・イベント等）を、市民や観光客へ提供するとともに、防災情報等のセーフティネットを構築するなど、地域情報ネットワークのツールとして同自動販売機が活用されています。

● 環境教育プログラム「つながる輪『いのち』」

2010 年 4 月より、学生主導による環境教育プログラム「つながる輪『いのち』」をスタート。旭山動物園内「やすらぎの森」横の「循環型農園」にて学生主導によって野菜栽培や収穫を行います。また、「ホテルが生息できる環境づくり」にホテルの幼虫を放流するなど、学生に生き物の循環を体感してもらうとともに、来園者へ環境メッセージ等を伝えています。



<つながる輪『いのち』循環型農園>

● 「あさひやま“もっと夢”基金自動販売機」の展開

2011 年 9 月より、旭山動物園のテーマ「伝えるのは命」をより表現できる理想の動物園を目指して、2007 年（開園 40 周年）に創設された「あさひやま“もっと夢”基金」を応援し、飲料を購入するだけで寄付活動に参加することができる「あさひやま“もっと夢”基金自動販売機」の展開を開始しました。毎年 4 月に、前年度分の寄付金額を、自動販売機の設置ご協力団体様とともに贈呈する寄付式を行っており、これまでオオカミの森、てながざる館、タンチョウ館、両生類・爬虫類舎の完成など、園内の新施設建設、大規模な修繕、新たな動物の購入等に活用されています。



<あさひやま“もっと夢”基金自動販売機>

➤ 「DOTs 未来基金寄付型自動販売機」の展開

2023 年 4 月より、株式会社 DOTs との協働取り組みとして、同社が主催する地域住民の心身の健やかさを育むことや、スポーツ振興を目的とした事業などの活動資金として売上金の一部が寄付される「DOTs 未来基金寄付型自動販売機」の運用を開始しました。両社が協働で取り組む同自動販売機を通じ、スポーツの力で社会を元気にする活動や魅力あふれる地域づくりを応援してまいります。



<DOTs 未来基金寄付型自動販売機>

● DOTs について

DOTs は、2021 年 7 月に設立した北海道初のプロビーチバレーボールチームで、オリンピック出場を目標に掲げ、連携協定を結んでいる鷹栖町を中心として、旭川市や石狩市などでも活動しています。これまで多くの資源（ヒト・モノ・コト）と出会い自らが成長できていること、その出会いそれぞれが点（DOT）として交わり繋がったということが、チーム名 DOTs（DOT の複数形）の由来です。技術向上や五輪挑戦を目的とした活動にとどまらず、地元北海道の皆様へスポーツを通して健康でいてもらうため、ビーチバレーをはじめとしたスポーツに触れ合える機会を作ったり、浜辺のクリーン活動を通して環境問題にも取り組むなど、多方面で地域への貢献活動をしています。